

2016年11月1日発行

発行 羽曳野市 市長公室 秘書課
〒583-8585 羽曳野市誉田4-1-1
072-958-1111 (代表)URL <http://www.city.habikino.lg.jp/>E-mail mailbox@city.habikino.lg.jp

●音声版「声の広報」は市ウェブサイトからダウンロードできます。

今月の表紙

東高野街道は古より政治・文化のパイプラインとして大切な役割を果たしていました。街道沿いの「誉田八幡宮」は、日本最古の八幡宮といわれ、かつて大坂夏の陣 道明寺・誉田の戦いの舞台となった場所でもあります。

も く じ

- 2 市長挨拶・決算公表
- 5 ドリームマイスター
- 6 市民マラソン大会・防災フェア
- 7 保育施設等の利用案内
・軽トラ市・成人式
- 8 きらりはびきの
・EV充電・3つのチャレンジ
- 9 LICウェルネスゾーン
- 10 特定健康診査
- 11 国民年金・かかりつけ健康メール・東洋医療
- 12 きらきらシニア
- 13 図書館だより・サラダボール
- 14 子育て支援センター
- 15 幼稚園・保育園の子育て
- 16 健康ファミリー
- 18 街かどから
- 20 LICはびきの
- 21 制度・お知らせ・募集など
- 34 相談窓口
- 35 市民のページ・風流韻事
- 36 社協・警察



羽曳野市

市章は“羽”の文字を抽象的に図案化し、シンプルに表現した。鳥のはばたきのような市の雄飛と発展性を示しています。

面積…26.45km²

人口…113,493人(前月比-82)

男… 54,160人

女… 59,333人

世帯… 49,355

(平成28年9月30日現在)

平成27年度の各会計の決算が 第3回定例市議会において認定されました。

一般会計決算

歳 入：401億6,104万円

歳 出：395億1,462万円

実質収支： 5億9,727万円

※実質収支：歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたもの

一般会計の決算は、平成18年度から10年連続の黒字決算となりました。市民の皆さまにご報告と心からの感謝を申し上げます。

今後も、全国的な課題である社会保障経費の増加や公共施設の老朽化対策等に対応するため、引き続き行財政改革への取り組みが必要で

安定した行財政運営と本市の持続的発展をより確かなものにするために、全力で市政運営に取り組んでまいります。

羽曳野市長 北川 嗣雄

会計別歳入歳出決算額

(千円・%)

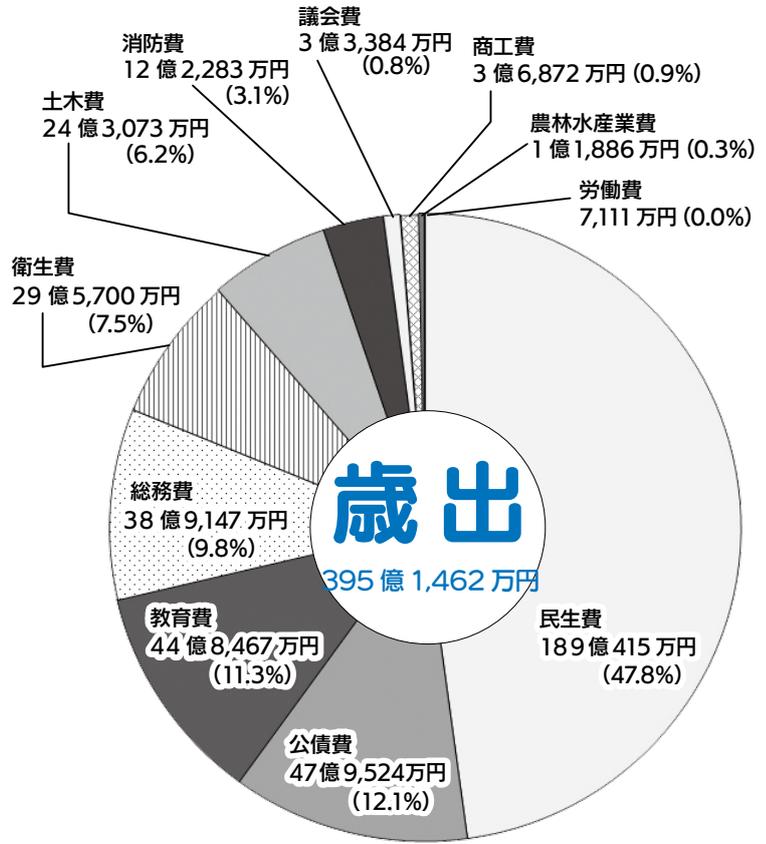
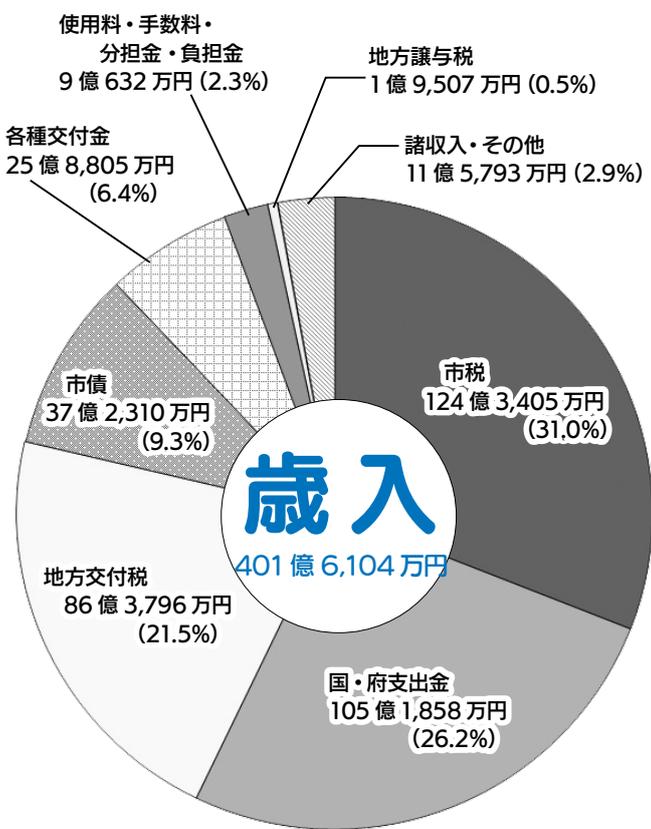
会計名	歳入		歳出		歳入歳出 差引額	
	決算額	前年度比	決算額	前年度比		
一般会計	40,161,042	101.4	39,514,617	101.0	646,425	
特別会計	国民健康保険特別会計	16,861,857	113.9	16,594,515	116.6	267,342
	と畜場特別会計	53,575	102.4	53,575	102.4	0
	財産区特別会計	1,790,264	96.1	56,061	74.4	1,734,203
	公共下水道特別会計	4,423,240	102.9	4,423,240	102.9	0
	介護保険特別会計	9,548,941	105.1	9,251,102	103.3	297,839
	土地取得特別会計	211,813	98.7	211,813	98.7	0
後期高齢者医療特別会計	1,514,181	102.1	1,456,447	102.1	57,734	

会計名	総収益		総費用		純損益
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	
水道事業会計	2,487,311	99.8	2,077,285	107.6	410,026

一般会計歳入歳出決算の内訳

()内は構成比

[歳入]…前年度から、国・府支出金が1.3%増加、地方交付税が2.5%増加となる一方、市税収入は0.4%減少し、国・府からの交付金等に依存した財源構成となっています。
 [歳出]…民生費が前年度より4.1%増加し、歳出総額のおよそ半分を占めている状況となっています。



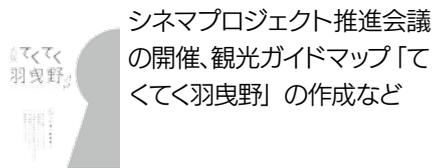
市民1人あたりの市税負担額…10万9,217円

市民1人あたりの歳出決算額…34万7,085円

※市民1人あたりの金額につき、人口113,847人(平成28年3月末)を用いています。

平成27年度の主要事業

観光による賑わいの創出と映画による地域活性化事業…5,515万円



シネマプロジェクト推進会議の開催、観光ガイドマップ「てくてく羽良野」の作成など

百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録推進事業…2,301万円



世界文化遺産登録推進本部会議の開催、PRビデオの作成、古市古墳群立体地形模型等作成など

地域防災計画の策定と地域防災力の向上…5,483万円

地域防災計画の作成、災害対策物資の購入、避難施設への太陽光発電設備の設置など

留守家庭児童会学習支援の充実事業…502万円

きらきらシニアプロジェクト…420万円



介護支援ボランティアポイント制度の実施

学校施設の耐震補強等改修事業…13億2,302万円

古市南小学校、高鷲中学校校舎の耐震化、誉田中学校の建て替え改修事業

(仮称)こども未来館たかわしの整備事業…2,479万円

(仮称)こども未来館たかわしの設計業務

LICウェルネスゾーン整備事業…2,965万円



健康づくり・介護予防拠点整備費(運営委託、備品購入費など)

駒ヶ谷駅西側公園整備事業…2,989万円

中央スポーツ公園整備事業…3億1,030万円



グレープヒルスポーツ公園

グラウンド改修事業…1億4,580万円



道路整備事業…1億1,481万円



市道東大塚美陵線整備、橋梁の設計・工事費、道路舗装工事など

指標でみる羽曳野市の財政状況

地方公共団体は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、財政の健康状態を表す「健全化判断比率」（4つの指標）の公表を義務づけられています。

■ 財政健全化比率

普通会計に関する指標である「健全化判断比率」には、健全度合いを測る基準として、①早期健全化基準（基準を上回ると、財政健全化計画を立てて、自主的な改善努力が必要）②財政再生基準（基準を上回ると、財政再生計画を立てて、国の関与を受け、確実な再生が必要）が設けられています。

■ 資金不足比率

水道や下水道などの公営企業会計に関する指標である「資金不足比率」には、経営状態を測る基準として経営健全化基準が設けられており、これを上回ると経営健全化計画を定めなければなりません。

平成27年度決算における本市の各指標は、いずれの指標も各基準を下回っている状況となっています。しかしながら、本市を取り巻く財政状況は依然として地方交付税など依存財源に頼った財政運営体質と言わざるを得ず、決して安定した状態にあるとは言えません。そのため、今後も健全な財政運営に取り組まなければなりません。

■ 羽曳野市平成27年度決算に係る健全化判断比率および公営企業資金不足比率

指標	概要	羽曳野市	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字比率	標準財政規模に対する、普通会計赤字額の比率	赤字額なし	12.18%
	連結実質赤字比率	標準財政規模に対する、全会計の赤字額の比率	赤字額なし	17.18%
	実質公債費比率	標準財政規模に対する、借入金返済額などの比率	9.3%	25.0%
	将来負担比率	標準財政規模に対する、将来に負担すべき実質的な負債額の比率	38.3%	350.0%
資金不足比率	対象会計	概要	羽曳野市	経営健全化基準
	水道事業会計	各会計における、事業の規模に対する、資金不足額の比率	資金不足なし	20.0%
	と畜場特別会計		資金不足なし	20.0%
	公共下水道特別会計		資金不足なし	20.0%

※普通会計：一般会計と土地取得特別会計を合わせたもの

※標準財政規模：市税や普通地方交付税など、標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源の規模を示すもの

※「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」の早期健全化基準は、各自治体の財政規模により異なります。

※詳しい財政健全化法の制度の仕組みは、総務省ウェブサイトをご参照下さい。 <問合せ> 総務部財政課 ☎ 958 - 1111 (内線 3561)

平成27年度 下水道事業の財政状況 ~公共下水道特別会計より~

◆歳入と歳出の決算額 44億2,324万円（前年度比：1億2,456万4千円、2.9%増加）

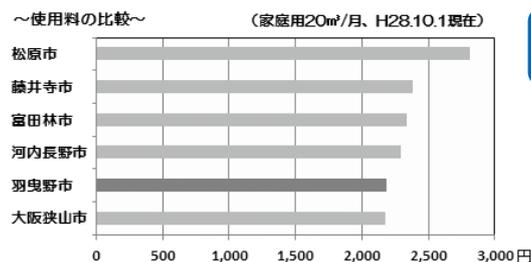
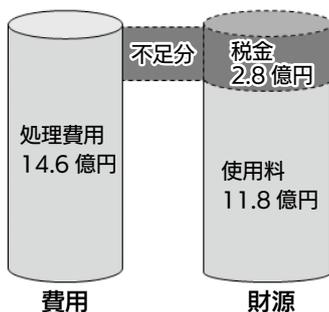
※決算額増加のおもな要因…借入金返済の増加



～汚水の処理に要した費用とその財源～

●家庭や事業所からの排水をきれいにするために要した費用…14.6億円

●本来、使用料でまかなわれるべきものですが、不足したため税金で補てんした金額…2.8億円



下水道への接続にご協力をお願いします！



問合せ 下水道総務課 総務企画担当 ☎ 958-1111 内線 2361